

(仮称) 波崎ウィンドファームリプレース事業環境影響評価方法書について

(仮称) 波崎ウィンドファームリプレース事業は、コスモエコパワー株式会社が茨城県神栖市において運用する風力発電所である波崎ウィンドファームの設備を更新しようとするものである。

「(仮称) 波崎ウィンドファームリプレース事業環境影響評価方法書」について、神栖市等の意見にも配慮しながら、事業者からの聞き取りを実施しつつ、慎重に審査を行った結果、環境保全の見地からの意見は下記のとおりである。

記

1 総括的事項

- ・ 本事業は、既設の風力発電設備を撤去し、新たに大型の風力発電設備を設置することから、本事業に伴う影響の調査・予測・評価及び環境保全措置の検討にあたっては、既設の風力発電設備の設置・運転により得られた知見を活用するとともに、最新の知見や専門家の助言等を踏まえ、可能な限り影響を回避・低減できるよう適切に行うこと。
- ・ 準備書においては、風力発電機の基数や配置、既設の風力発電設備の撤去時期を含めた工事計画などは、地域特性及び事業特性を踏まえて、環境への影響が最大となる場合を想定して調査・予測・評価を行うこと。また、事業計画の確定に至った検討の経緯を準備書に記載すること。
- ・ 準備書の作成にあたっては、図表を使いながら調査・予測・評価の内容を分かりやすく記載するとともに、専門的な表現については解説を付すことや既設の風力発電設備と比較できるようにするなど、本事業が環境に与える影響について、地域住民等にも理解しやすいものとなるよう工夫すること。
- ・ 地域住民へ丁寧な説明を行い、理解を求めること。また、住民等からの意見には、真摯に対応すること。

2 個別的事項

(1) 騒音・振動

- ・ 風力発電機の基礎工事における杭打ち及び撤去工事に伴って発生する騒音及び振動による生活環境への影響が懸念されることから、風力発電機の基数や配置、既設の風力発電設備の撤去時期を含め、工事で発生する騒音及び振動が最大となる場合を想定し、建設機械の稼働に伴う騒音等による影響について調査・予測・評価を行うこと。設備稼働による影響に関しては、既設

設備の稼働により得られた知見を活用するとともに、最新の知見や専門家の助言等を踏まえて、適切に調査・予測・評価を行うこと。また、それらの結果を地域住民に対して丁寧に説明し、理解を得るよう努めること。

(2) 風車の影

- ・ 風車の影が与える環境への影響について、既設よりも高さがあることを念頭に、既設の風力発電設備の運転により得られた知見も活用し、適切に調査・予測・評価を行うとともに、それらの結果を地域住民に対して分かりやすく説明し、理解を得るよう努めること。

(3) 動植物への影響

- ・ コウモリ類及び鳥類などの飛翔性動物への影響については、既設の風力発電設備の設置・運転により得られた知見を活用するとともに、最新の知見や専門家の助言等を十分に踏まえ、地域特性及び事業特性を考慮した上で適切な環境影響評価の実施を検討すること。また、検討の経緯を準備書に記載すること。
- ・ 植物の調査については、事業予定計画地の周辺を網羅的に調査ルートとして設定し、希少な植物種が確認された際には、適切に記録を行い、適宜、保全等の対策を検討すること。

(4) 廃棄物

- ・ 既設の風力発電施設の撤去にあたっては、出来る限り資機材のリサイクルや既存の工作物の再利用等を図り、環境負荷の低減に努めること。